



蚕

今回は、一部の方に人気の生き物回です。先週から教室で蚕（かいこ）を飼っています。

探究の生き物グループの子たちに、本やインターネットで調べるだけではなく、実物の観察と記録を通して情報収集をしてほしいという願いからですが、正直目論見は失敗したようです。

蚕は生物学的にも歴史的にもとても興味深い生き物なので、私としてはぜひ近くでよく見て、直接触れてほしいのですが、子どもたちは蚕が怖いのか気持ち悪いのか、あまり近づこうとしません。エサがちょっと臭うのも理由かもしれません。

私は蚕がとても好きなのですが残念です・・・。



【小顔で色白でとても愛らしいです】



【触るとプニプニして気持ちいい】

今回はせっくなので、蚕の魅力やその不思議さを一部お伝えします。

ここがすごいぞ蚕①「唯一野生回帰能力を失った完全家畜化された生き物」

蚕は5000年ほど前、中国で飼育され始めたそうです。

品種改良を繰り返した結果、人間無しでは繁殖、生存ができなくなりました。

幼虫は風が吹いただけで木から落ちるほど力が弱く、警戒心もほとんどありません。成虫も翅はありますが、飛ぶことはできないので、人間に飼育されないと生きていくことができません。

ヤギやブタなど、他に家畜化された生き物はたくさんいますが、野生に戻ることができないほど家畜化された生き物は蚕しかいません。蚕は、品種改良について学ぶとてもよい教材です。

ここがすごいぞ蚕②「歴史の勉強にもなる」

蚕と言えばその繭からとれる「絹（シルク）」が有名です。Ms.Kellyも蚕を見た瞬間に、Silkwarm?と聞かれたので、おそらく世界的にも蚕は有名なのでしょう。

中学校で習う中国とローマを結ぶシルクロードはもちろん、日本近代化の象徴である富岡製糸工場も当時の日本最大の輸出品である絹糸を大量に作るために作られました。

蚕と歴史とのつながりはとても深いのです。

他にも1匹から1500mもの糸を吐けることや、新しい素材としてシルクが注目されていることや、まだまだ魅力も不思議もたくさんあります。探究のしがいがある生き物なので、もしテーマに困っている人がいたら、蚕はいかがでしょうか？